

令和5年度 第4回 小田原市社会教育委員会議 概要

- 1 日 時：令和6年3月22日（金）書類発送
令和6年3月31日（日）回答期限
- 2 場 所：（書面会議）
- 3 委 員：（書面会議参加者）木村議長、笹井副議長、有賀委員、岩崎委員、小田中委員、加藤委員、齊藤委員、高橋委員、中澤委員、永森委員、箕輪委員、山本委員
- 4 職 員：（書面会議対応職員）田村生涯学習課長、蓑宮生涯学習課副課長、藤平主査
- 5 傍聴者：書面会議のため傍聴者なし
- 6 概 要：（資料及び確認シートを送付し、質問・意見等の回答を依頼）
 - (1) 報告事項
令和6年度当初予算概要について … 資料1「令和6年度当初予算概要」
特に質問・意見等なし
 - (2) 協議事項
 - ア 令和6年度社会教育関係団体への補助金について … 資料2「令和6年度補助金概要」
特に質問・意見等なし
 - イ 今期研究テーマの協議について … 資料3「これまでの協議資料（主な取組）」、資料4「これまでの協議概要」
資料4について、次のような補足・修正等の意見があった。
 - №.16について「収穫イベント等は、自然との触れ合い、親子の交流を目的に積極的に取り入れたい」旨の文章を補足。
 - №.88について「今後、後継者不足が懸念される役員の負担軽減のため、民生委員との調整や外部の方を招いたイベント等、工夫する必要がある」旨の文章を補足。
 - №.29について「健康や運動への関心を高め、行動を起こすには“場”が必要であるため、既存の学童保育や放課後子ども教室等の場に、生涯スポーツのイベント・取組を持ち込む等の工夫が必要となる」旨の文章を補足。
 - 「おだわらっ子の約束」の子どもたちへの周知について、「教育振興基本計画の理念とするならば、より積極的な周知を図り認知度を上げる必要がある。尊徳学習やおだわらぬり絵等小田原ならでは取り組みがあるように、小田原ならではの約束として伝えていくことも方法の一つ。約束の内容は難しいものではなく生きていくための基本的なものなので、日々の生活の中でその都度意識づけをしていけば良い。」という旨の意見を追加。
 - №.48, 49, 74, 78について、助詞ほか文章表現上の文言を若干修正。